

B & G 海洋センター

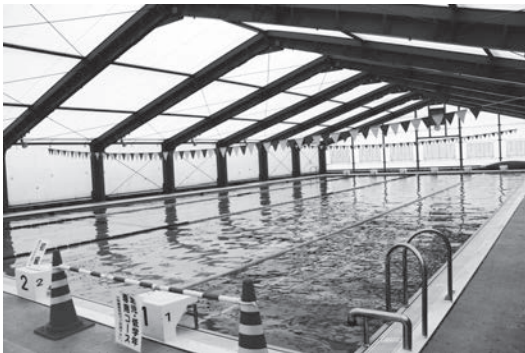
リニューアルオープン

6/26

沼田町 B & G 海洋センターでリニューアルオープン記念式典が執り行われました。

B & G 海洋センターは平成 4 年のオープンから 24 年が経過し各施設の設備等老朽化が著しい事から、B & G 財団からの助成を受け衛生加温設備、建物塗装やトイレの洋式化に合わせて温水洗浄器（ウォシュレット）を取り付けるなど初めての大規模改修を行ない、快適に利用いただける施設としてリニューアルしました。

式典では、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 姫野事業部長からは「今回の改修により施設の安全性、利便性が向上し、町民の皆様が安心して利用できる施設となりました。今後もユニークなイベント等を開催して、多くの方々に利用していただきたい」と述べました。



働きながらのちょっと暮らし

移住体験者が本場の味を披露

6/28

「働きながらのちょっと暮らし事業」で和風園で勤務されていた高嶋恭子さん（大阪府在住）が、利用者にお好み焼きを振舞いました。

この事業は、町内の介護施設等に働きながら住んでいただき、本町の生活を体験する事業として、昨年度から実施しています。

高嶋さんは、この事業を活用して 6 月 1 日から 30 日まで、和風園で勤務しながら本町に滞在されました。高嶋さんは「毎年道内色々な町に行っているが、このような事業を行っているのは沼田町だけ。すばらしい企画だと思います」と話されました。

また、大阪府出身ということで振舞われたお好み焼きを食べた利用者の方からは「初めて食べたがすごくおいしい」などの声が聞かれ、楽しい交流の場となりました。



白熱した競技の連続！

第44回町民体育祭

7/2

曇り空の中、第44回町民体育祭が小学校グラウンドで開催されました。

開会式では大会長である金平町長から「この町民体育祭を通じて地域の親睦を図って下さい。」と挨拶がありました。

今年は「防災〇×クイズ」を含めた10種目で競い合い、大人も子供も競技に汗を流していました。結果は緑組が優勝し、昨年の第43回大会は雨で中止となりましたが、第41・42回と合わせて3大会連続優勝の偉業を成し遂げました。



▲毎年恒例競技となった「急いで満タン」



▲審判を押しつぶす勢いで盛り上がった「大玉コロリン」



▲翌日筋肉痛確定の「綱引き」



▲小学生自由参加競技の「玉入れ」



▲お父さん、お母さんも張り切った「玉入れ」今年から1個1点になりました



▲消火栓でプシュー「防災障害物競走」

町立沼田厚生クリニック

オープンテープカット

7/3

町立沼田厚生クリニックオープンセレモニーが執り行われました。

金平町長は「沼田厚生病院は、昭和18年に診療を開始してから約70年にわたり本町の地域医療に尽力していただきました。住み慣れた地域で自分らしい生活ができるよう、今後も町民の医療の拠点として願います。」と述べました。

また、引続き指定管理者として、沼田厚生クリニックを運営する北海道厚生連 西代表理事会長は「北海道厚生連は道内に14施設の病院を運営しています。その内、指定管理者としては、鶴川町と沼田町の2施設だけです。今後も3,200人のかかり付け医として町民の皆様への期待に添えるよう努力します。」と述べました。

最後に、金平町長、高田副議長、西代表理事会長、鳥本院長によるテープカットが行われ、待望の開院となりました。



晴天の中開催

町長杯パークゴルフ大会

7/6

町民パークゴルフ場において、第16回沼田町長杯争奪パークゴルフ大会が開催されました。

旭川市・滝川市・芦別市・留萌市など近隣市町村から111名のパークゴルフ愛好者が集まり、久しぶりの晴天の中、熱戦が繰り広げられました。

男子の部は、4ホール合計98打でホールアウトした栗山英二さん（滝川市）、女子の部は、合計98打の大上芳子さん（滝川市）が見事優勝し、優勝カップを手に入れました。



▲左から栗山英二さん・大上芳子さん

【大会結果】

男子の部

優勝 栗山英二さん（滝川市）
準優勝 砂田春夫さん（深川市）
3位 岩本忠司さん（北竜町）

女子の部

優勝 大上芳子さん（滝川市）
準優勝 相馬美佳さん（留萌市）
3位 三浦法子さん（妹背牛町）

訓練の成果をお披露目

沼田消防演習

7/10

役場前駐車場において、深川地区消防組合沼田消防団による消防演習が行われました。

開会式では金平町長から「日頃より地域住民の安全安心を守るため日夜、励まれていることに感謝申し上げます。日本各地で大雨等による被害が多発しており地域の安全対策の充実が必要です。本町においても消防団や地域防災組織の支援・拡充を推進してまいります。」と挨拶がありました。

演習では、ポンプ車を使用したポンプ操法



▲新しい団員服をお披露目



訓練や、観光情報プラザ前に場所を移した模擬火災訓練、分列行進などが実施され、日頃の訓練の成果によりどの訓練でも消防団員の方々は規律ある俊敏な動きをみせていました。



これからの生活に役立てて

いきいき大学講演会

7/11

ゆめっくるで、いきいき大学の講演会が行われ、68名が参加しました。

講師には、財務省 北海道財務局 財務広報相談室長 手小 洋伸 氏をお招きし、「高齢者の生活とお金」～社会保障・年金・金融犯罪～と題して、日本の財政と高齢者の生活について学びました。

講演では、ビデオも使いながら、少子高齢化と社会保障の関係や、近年巧妙化している特殊詐欺などについてわかりやすくお話しいただき、参加した学生は興味深く耳を傾けていました。



事故には気をつけて

交通安全街頭啓発

7/13

夏の交通安全運動週間（7月11日～20日）のこの日、沼田町交通安全協会シルバー部会（松野茂雄部会長）と沼田認定こども園（土肥芳子園長）の園児による交通安全街頭啓発が行われました。

部会員と園児は、通行する自動車ドライバーに「安全運転をお願いします。」など声をかけ、事故のない安全な町を願って交通安全啓蒙活動を行いました。



家族みんなで

和風園夏祭り

7/15

養護老人ホーム和風園で「和風園夏祭り」が開催され、施設利用者の家族や来賓など、約250名の方が訪れました。

この夏祭りは、施設職員のほか旭町町内会や隣にある特別養護老人ホーム旭寿園の職員、役場青年女性部など多くのボランティアに協力いただき行われています。

施設には、利用者が作成した書道や切り絵などの作品が展示され、夏祭りに彩りを添えていました。

この日は晴天に恵まれ、集まった家族たちは、焼き鳥やフランクフルトなどの屋台に行列を作り、利用者と一緒に食べながら笑顔で話に花を咲かせていました。



▲園長の身体を張ったアトラクションに会場からは大歓声が上がりました。

※防災クイズの答えは次のとおりです。

第1問 ※正解は「○」

災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。災害で家族と連絡が取れなくなった場合に活用するものなので、171（いない）と覚えてください。

第2問 ※正解は「○」

避難所は、各世帯に配布している「防災のしおり」や町ホームページ、沼田版の電話帳の最初のページに掲載しておりますので、いざと言うときのためにも、必ずご自分の避難所を確認してください。

第3問 ※正解は「×」

氷砂糖は、パサパサで食べにくいカンパンを食べやすくするため、唾液の分泌を促進する役割として入っています。カンパンを食べる際には氷砂糖を舐めながら食べると、おいしく食べられると思います。

「ふらっとーク」おじゃまします！金平です

6月24日（土）行政区や各団体と町長が懇談する「おじゃまします！金平です！」を、緑ヶ丘町内会が開催する会合に合わせ開催しました。

参加者からは「安心センター」や「まちなかほっとタウン」「巡回バス」等、わからない事や疑問に思っていることについて質問がありました。

26日（月）には高穂行政区で開催され、携帯電話の繋がらない地域への対策や、沼田厚生クリニックへの小児科医の配置などの要望等があり、参加された方々からたくさんの質問や意



見をいただきました。

「おじゃまします！金平です」でいただきましたご意見等は、今後の町政へ役立たせていただきます。

開催を希望する町内会・行政区・団体等ございましたら下記までお問合せ下さい。

○お問合せ先 総務財政課広報情報グループ
TEL 35-2111 FAX 35-2393

快適な施設利用に！！

皆さま方にご利用して頂いている施設を、より快適にご利用して頂くため、温水洗浄器（ウォシュレット）が設置されていなかった下記施設内のトイレ便座を温水洗浄器（ウォシュレット）付便座に交換しました。



○温水洗浄器（ウォシュレット）付便座設置施設

- | | |
|----------------|----------------|
| ①共成コミュニティーセンター | ②東予コミュニティーセンター |
| ③町民パークゴルフ場 | ④北竜地区活性化センター |
| ⑤恵比島地区活性化センター | ⑥化石体験館 |
| ⑦B & G海洋センター | |